



車内の金城学院大学

114限目

「和声学」

10/20(土)  
オープンキャンパス開催!

 **130**  
Dignity & Humanity  
KINJOGAKUIN ANNIVERSARY 2019

## 「音楽にも「文法」がある？」

### [和音の使い方]

私たちは、様々な単語を並べて文章をつくりますが、実はクラシックやポップスなどの音楽の世界にも、音の並べ方を示す文法のようなものがあります。例えば「和音」の使い方。ひとつの音の上に他の音を重ねてできる様々な和音は、ただむやみに並べても方向性を持ったものにはなりません。和音の機能には大きく「トニック」「ドミナント」「サブドミナント」があり、それぞれを主語、述語、補語のような関係で並べることで楽曲は成立しています。つまり作曲とは、単語をつなげて文章をつくることと同じように、和音のつながりを意識することがとても重要なのです。このように、和音の機能をもとにたくさんの和音をつなげていく方法は「和声学」として理論化されています。歴代の作曲家たちはその理論を学び、さらに独自の手法を切りひらいていく中で、名曲をつくり出してきたのです。

音楽を深く学び、豊かな表現方法を身につける。それが文学部 音楽芸術学科。

強く、優しく。



**金城学院大学**